

シリーズ記念碑探訪 19

義民・名左エ門顕彰碑

雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区

由

来

今から二百年ばかり前に、羽後町貝沢に名左エ門という腕のいい大工の棟梁が住んでいた。現在の羽後町貝沢は戸数120戸、水田120ha、米11千俵を出荷する集落だが、当時は戸数50戸足らず、米の石高が350石（約900俵）と大変貧しい集落だった。名左エ門は貝沢の人たちの貧乏を救うには、もっと稲を作ること以外にないと貝沢の西側、北側に広がる原野の開田に着目した。しかし、その原野は高台の丘となっており水の確保が困難な場所だった。

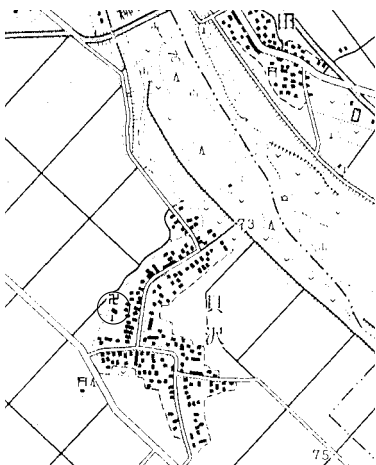
ちょうどそのころ、幕府は開田を奨励しており、一方では年貢の取り立てを厳しくしていたので、百姓一揆が頻繁に起きた混乱した世の中でもあった。

秋田もその頃、冷害による大飢饉に度々襲われ、佐竹藩は開田開拓を勧めていた。

名左エ門は村の百姓・四郎左エ門、甚兵衛、佐兵衛、辰五郎、幾松の5人と共に発起人となって開田開拓の計画を立てた。藩も開田が奨励さ

れていた時期だけに、貝沢の原野の開田を何回となく試みたが丘の上に水を引くことは出来なかった。

大工の名左エ門は水路を造る工事など専門外



右側標識にはうご町郷土かるた㊦“名左工門堰”（表面）名左工門 命ひきかえ 堰つくる（裏面）と書かれている。

であったが、大工としての水平技術を応用して、村人の夢を実現し念願を叶えてやりたいと思っていた。

名左エ門は観世音菩薩を信仰しており、ある夜、枕元に観世音菩薩が現れ、遠くから水を引くのではなく、上流の水をせき止め（貯水池を造る）ることを告げられた。

早速、名左エ門と四郎左エ門が中心となって、藩庁に用水路工事の着工許可願いを出したが、なかなか許可がおりなかった。その理由は、我々が出来ないものを、大工や百姓の分際でという役人の妬みそのものだった。

当時、新しく田地を開く方法には二つのやり方があり、役所から指令されてやる指紙開（さしがみびらき）と、村の百姓が許可願いを出して行う忠進開（ちゅうしんびらき）であった。名左エ門たちは忠進開であったため、何回となく足を運んだのである。

許可を取るために貢物もかかせなかったが、名左エ門は貝沢の百姓を救う工事の許可を与えるのは当然のこととし、貢物は一切しなかったと伝えられている。役人たちは、貝沢の百姓らの態度は傲慢だとし、用水路工事の許可を与え

ないばかりか、翌年、貝沢村の田地面積を調べ上げる検地を行った。寛政六年貝沢村検地帳によると、石高350石で「免七ツ成」と書いてある。石高の7割を年貢米として納めるということは、貝沢村の百姓にとって、どんな過酷なものであったかは言うまでもない。

年貢米を2割以上も増やされた貝沢村の百姓の命を守るためには、名左エ門らは何としても貝沢の北側、西側原野の開田を成し遂げねばならなかった。困った百姓に理解を示そうとしない藩の役所に見切りをつけ、名左エ門らは、極秘で計画を練り実行した。

名左エ門らの計画は、山田村、深堀村から流れ落ちる二本の堰が合流するところに堤防を築き、水をせき止め西側の高台に水を押し上げるというものだった。上流から押し寄せる水をせき止めて、崩れない堅固な堤防を築くことに苦勞した名左エ門は、そこに「濤築（とうじき）」と地名を付けた。180年過ぎた今も、「とうじき」の地名はそのまま残っている。

この用水路工事では村人の協力が積極的だった。日に20人、30人と出役した。そして着工以来3年目の春に敷地3haのため池が完成し、その秋には用水を流す水路工事も目途がたった。しかし、残念なことに仲間の辰五郎が工事途中で亡くなり、その息子が役人に踊らされ名左エ

門らを密告したのである。

寛政8年、名左エ門以外の4人が厳しく取り調べられ、許可状がないことを理由に用水路工事の中止と厳しい罪状が言い渡された。首謀者の名左エ門は磔刑に、その家族と仲間4人は村ばらいに。こんなきびしい罰であった。

極刑を目前に、名左エ門は、ある雲の多い夜、家を抜け出し、「とうじき」の土手に座り、手を合わせ静かに観音経を唱えた。ふところから研ぎすましたノミを取り出し、それを逆手に握り、のどに突き刺した。時に寛政8年（1796年）旧7月4日のことである。重罪の汚名をきせられた名左エ門の葬式も出せず、貝沢の人たちは、せめてもの供養にと、名左エ門を葬った所に、土を盛りあげ、その近くに2本の杉を植えた。

何年か後に、その杉のそばに一基の石塔が建った。その石塔の一つには、「通山源信居士」と刻まれている。名左エ門が一命を賭けて引いた用水路は、水の流れも良く、その後、次々と新しい田が開かれていった。田圃も平らで広々し、土壌も肥え、村人は今更ながら名左エ門の業績に感謝し、大恩人を記念し、この用水路を名左エ門堰と呼ぶようになった。

—参考文献—

・羽後町教育委員会 高橋良蔵著から

ちょっといっぶく

頭の体操

答

- ①意欲漫々（いよくまんまん）②意気揚々（いきようよう）③多士済々（たしせいせい）④和気藹々（わきあいあい）⑤死屍累々（ししるいりい）⑥虎視眈々（こしたんたん）⑦余裕綽々（よゆうしゃくしゃく）⑧氣息奄々（きそくえんえん）⑨余韻嫋々（よいんじょうじょう）⑩天網恢恢（てんもうかいかい）⑪丁々発止・打々発止（ちょうちょうはっし）⑫粒々辛苦（りゅうりゅうしんく）⑬呵々大笑（かかたいしょう）⑭戦々恐々（せんせんきょうきょう）⑮唯々諾々（いいだくだく）